

報 ずずらの里

2009年 3月号 No. 96

発行者

〒869 - 5161
八代市葭牟田町435番地
特別養護老人ホームずずらの里
Tel 0965-39-7511
Fax 0965-39-7512
施設長 福田道子

施設内最高齢の中島ミツエさんは「本日はありがとございませう。おかげさまで103歳になりました。皆さんもどうぞ元気で長生きして下さい」と述べられ参加者からは温かい拍手が送られました。その他の誕生者もにこやかな笑顔で参加され盛況のうちに誕生会を終りました。



理事長と握手され笑顔を見せられる橋口ユキ子さん(82)

2月18日(水)、10名の利用者をお祝いする誕生会を開きました。誕生者には家族会と施設から記念品を贈呈し、利用者職員からは歌をプレゼントしました。

最高齢 103歳

中島ミツエさん

2月生誕会

後日、中島ミツエさんに103歳を迎えるにあたっての抱負を聞いてみました。



中島さん(左)へ「元気で長生きして下さい」と面会に来られた孫さん夫婦(右)より

一日一日を大切に生きていく

周囲の人に迷惑をかけるな「邪魔にならないようにする。まあ、そんな邪魔には(私は)なつとらんはずだけんよかよか(笑)」との事です。

介護職員 田川拓也

祝 ~3月の誕生者~

- 永野 ユキノ様 (M43.3.15 99歳)
- 濱口 三重子様 (T 4.3.25 94歳)
- 樋ノ口 ツキ 様 (T 6.3.30 92歳)
- 作元 エミ子様 (T10.3.18 88歳)
- 大橋 キミ工様 (T12.3. 2 86歳)
- 山本 サカ工様 (T12.3.20 86歳)
- 下村 春子 様 (T12.3.10 86歳)
- 上村 ヤエ 様 (T14.3. 3 84歳)
- 福嶋 サツ子様 (T15.3. 2 83歳)
- 清水 マス子様 (S 9.3.13 75歳)

大岩由梨

今月は、清水マス子さん(75)を紹介します。

清水さんは、近頃入所されたばかりのニューフェイスです。

いつも元気な声でお話され、声をかけると「ははは」と可愛らしい笑



顔で周囲を癒してくれま

す。また、ご主人の面会を楽しみにされており、より一層の笑顔をたくさん振りまいてくださいます。これからも、その素敵な笑顔を絶やさず、元気で長生きしてくださいね

介護職員 大岩由梨

私は誰でしょう？



ヒント；私は、2階の入所棟で勤務している男性介護職員です。
芦北町から通い、ここで働いて3年目に突入しました。
学生の頃は、バレーボールをやっていました。
将来は、家庭的な女性と結婚したいなぁと思っています。



* 2月号の正解は、
橋塚恵美さんでした。

栄養満点



～すずらん苑との
調理合同研修～

2月3日（火）、すずらん苑の栄養部と「高齢者向けの小鉢の検討」をテーマに合同研修会を行いました。この合同研修会は両施設の栄養士と調理師が、栄養や調理に関する知識と技術向上のために年に数回行っているものです。

今回は職員が考えた新しい料理を調理し、試食しながら「味付け、彩り、高年齢者に好まれるか、大量調理が可能か」の4項目について評価しました。新作料理は、普段からよく使用する食材でしたが、それぞれ違った調理法や味付けの工夫があり



新作料理；
じゃがたまのホクホク炒め

新メニューとして取り入れることが可能なものが多くありました。職員からは「色々な調理法が学べてよかった」「このような研修会を増やして、施設のメニュー

を充実させたい」などの意見があり、有意義な研修会となりました。これからは合同研修の回数をもっと増やし、利用者喜んでもらえる食事作りに努めてまいります。

管理栄養士 江上まどか



編集後記

普段から誌面の制作に携わっている広報委員を紹介します。

「なぜ、私が広報委員に・・・!?」

未だにそれは謎ですが、初めて広報誌を作ることになった私は、最初は不安でいっぱいでした。

日頃、活字と縁遠い生活を送っていた為文章を書いたり表現することの難しさに毎月頭を抱えていました。

このままではいけないと思い、なるべく毎日新聞を読み、気になる本を読んで自分なりに地道な努力をしました。最近では、勤務しながら記事になるような「ネタ」を探しています。

まだまだ未熟者ですが、皆さんに楽しんで愛読して頂けるよう努力していきます。



広報委員 大岩由梨